

おせっかいし隊事業 DE 縁結び



【写真①】受講時、メンバーと一緒に。

▽石橋あけみ（八戸市）、板橋千歳（八戸市）、工藤恵美子（八戸市）、関本幸子（八戸市）（写真①）

私たちのグループは「はちのへウィメンズアクション」で活動を続けているメンバーの集まりで、以前から「我が子の結婚相手を探してほしい」と周囲から相談されていたメンバーが中心になり、何とかしたいという思いで「おせっかいし隊」事業を始めました。

セミナーのワークショップで集めたデータなどを再確認し、自分たちの強みである男女共同参画の考え方を伝えながら活動をすることにしました。



【写真②】親世代を対象に、婚活の支援のための情報交換会。全5回開催。

まずは、我が子の結婚相手を探したいと望む親世代を対象に、2019年3月から親のための情報交換会（写真②）を始めました。それぞれの状況や経験を語り合い、今どきの結婚や婚活事情、結婚を支援したい親へのメッセージなど多様な情報を分かち合いました。情報交換会は5回実施し、10名登録しましたが、息子さんをお持ちの方だけが意欲的に参加するにとどまり、縁結びのきっかけにつなげることができませんでした。

親の気持ちに寄り添うことの限界を感じ、結婚したい当事者を対象に活動を始めました。会食やお茶飲みではなく、何かをしながら交流し相手の飾らない姿を知る機会創出のための「出会いワークショップ」（写真③）を行いました。

料理やボウリングなど2~3か月ごとに3回実施し、男性15名女性9名が参加しました。その都度アンケートを取り、進行の仕方や何を一緒にするかなど、次のワークショップ開催に生かしました。また、ワークショップ後の個別相談という形でフォローにも取り組み、次のワークショップについて検討をしていましたが、新型コロナの影響やメンバーの状況変化もあり、続けることが困難になり、現在は休止しています。

約1年間の活動で具体的な成果はありませんが、各メンバーの得意を生かすことができ、また、結果から学び次に生かすというサイクルができたことは有意義でした。

今後の活動は未定ですが、この休止期間を一つの転換点として次の「行動」につなげていけたらと考えています。



【写真③】ワークショップで、相手の飾らない姿にふれることができる。結婚したい当事者を対象とした企画。

チーム「集楽下北」活動報告

▽大畑彩美（佐井村）、坂本愛（風間浦村）、島康子（大間町）、
杉山裕生子（むつ市）、橋本京子（大間町）

私たちは、2019年度に「あおりウイメンズアカデミー地域女性リーダーコース」を大間会場で受講しました。地域課題の解決策を話し合う際、「楽しいことが集まっている下北地域に人がどんどん集まるようにしたい」との思いから、チーム「集楽下北」と名乗ることにしました。

【写真①】
発表の様子
「写真①」
昨年の「地域課題の解決策」



昨年11月の発表会では、各地域共通の課題である「廃校等の利活用」に着目。「多世代交流」や「関係人口増加」をキーワードに、①自然・食・なりわい・暮らし体験、②同窓会への活用、③木のおもちゃ美術館設立を提案しました。

木のおもちゃ美術館のヒントになったのは、東京おもちゃ美術館です。多世代交流のミュージアムを謳い、木育にも取り組む同美術館

は、廃校を利活用して認定NPO法人「芸術と遊び創造協会」が運営しており、取り組みは秋田県や山口県などにも広がっています。下北は木に恵まれた地域で、さらに海もあるため、自然を生かした様々な遊びを体験できる多世代交流型の施設ができればと考えました。

そこで昨年11月には、六ヶ所村で開かれた木育キャラバンをメンバーの杉山裕生子さんが視察し「小さい子から大人まで木の匂いと木の感触で癒されながら遊べていたと思います」と感想を話しています。また、今年1月にはメンバーの島康子さんが東京おもちゃ美術館を視察。「ぜひ下北にも、青森ヒバを生かしたおもちゃ美術館をつくりたい！」と刺激を受けたそうです。

また発表会后、佐井村の旧保育所に高齢者らが毎週集まっていると知り、視察を検討しましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて延期となっています。今後は、旧保育所などで何か活動できないか模索していきたいです。

【写真②】
次々アイデアが沸き、笑顔が絶えない、仲間とのひととき。



「KAMISO この指とまれ」の活動報告

▽石岡明沙実（外ヶ浜町）、金澤澄子（外ヶ浜町）、
金澤美加子（外ヶ浜町）、金澤理英子（外ヶ浜町）、
木村香織（今別町）、木村みどり（青森市）、
工藤彩乃（外ヶ浜町）、田中梨香子（今別町）、
成田英梨奈（今別町）、福井こずえ（外ヶ浜町）、
蒔苗志野（外ヶ浜町）、松山絵里（外ヶ浜町）、
横岡千和子（今別町）

2019年6月27日初めて会った私たちは、地域リーダーの在り方や、求められるリーダー像の形を知るきっかけを求めて、令和元年度あおもりウイメンズアカデミー地域女性リーダーコース・外ヶ浜会場で受講し、修了証をいただくことができました。講師の先生方より、視点を変えて地域を見る方法を学び同時に集まったメンバーが友達にな

った事に感激しました。年齢も生い立ちも違う人同士が会うことなんてこの講座がなければありえないことだったので。人生が豊かになった出会いは、地域の課題を解決する方法を導いてくれた講師の先生との出会いでもありました。受講を重ね「外ヶ浜に来てほしい」「何回でも来てほしい」「住んでいる人も訪れた人も居心地がいい地域にしたい」と、雪だるまを作るようにアイデアがコロコロと生まれ「クラフト市をやりたい」気持ちが一つになった瞬間でした。

会場の選定（写真①）、視察、町役場へ活動報告、開催日の決定などメンバーが協力しあうことで思いが実現していく体験ができ、一人ではできない思いが形になったのです。SNSも発信して（写真②）「展してくれる人を募集しよう」と、活動の幅も広げていた矢先に・・・まさかの事態。しかし“開催は中止ではない、延期だよ”メンバーの気持ちも緩んではいなかったのです。今やれることをやる行動は続いています。マスクを手作りしている人がいると聞けばお手伝いしたり、山の清掃活動をしている人がいると聞けば草刈りを手伝ったり、適材適所で動き続けていたのです。

“みんなあつまれ外ヶ浜”「KAMISO クラフト市」は開催に向かっていきます。そしてこれから、何がやるかアンテナを張りながら、メンバーがそれぞれの活動場面で情報収集中です。（写真③）【外ヶ浜モデル】として、いつか報告できる日がくればいいなあと、思いを巡らせている今日この頃です。

【写真①】自然豊かなこの町の今でも児童の声が聞こえそうな学校に
もう一度笑い声を響かせたいと思った
旧平館小学校



【写真②】 SNSで活動を発信！



会場の選定（写真①）、視察、町役場へ活動報告、開催日の決定などメンバーが協力しあうことで思いが実



【写真③】「クラフト市」告知に大活躍！名前の部分は手書きできると工夫された名刺